



# 南風会安全大会

本社アリーナにおいて、約2000人の南風会会員が参加して安全衛生を誓い合う「第26回南風会安全大会」を開催しました。



●万善義則会長の挨拶

安全講話は、鎌田建設労働安全顧問 玉利栄輝氏より「安全点検していただきますか？」についてご講話頂きました。「敷居を跨げば七人の敵がいる」



●鎌田善政顧問

義則会長は「安全教育を確実に実施して、攻めの安全対策に取り組みよう。」と呼び掛けました。



●鎌田安典副会長

鎌田安典副会長の開会宣言後、建設業界で尊い犠牲となられた御霊に對して、全員で黙祷を捧げ慰霊と安全を誓い合いました。冒頭の挨拶では鎌田善政顧問が「社に『凡事徹底』の石碑がある。下座に立って仕事をする

交通安全講話は、霧島警察署交通課長 坂下貢一氏より「霧島警察署管内の交通情勢と交通法令」についてご講話頂きました。管内の交通事故の87%が国分・隼人地区で、前方不注意、安全不確認のいわゆる「漫然運転」による事故が非常に多

と言いますが、現場においても常に作業の手順と点検を意識して行動することが大事です。労働災害の8割が不安全行動によるもので、慌てている時や急いでいる時こそ作業前の指差し呼称で災害を防止する。整理整頓も作業の中で実践していくことが大事。点検することとはしっかりと見る（観察し診断することであり、危険を伴う作業もその対策をしっかりと実施しているか点検する。今年の安全週間スローガンは「危険見つけてみんなで改善：」いわゆるしっかりと点検する事が大事なことだと改めて感じました。



●安全表彰会社

いとの事です。管内4件の死亡事故詳細説明の後、七つの事故防止として①横断歩道における歩行者優先②歩行者の皆さんへ③最高速度の遵守④3ライト運動⑤夜行反射材の着用⑥飲酒運転の根絶⑦自転車講習制度について、遵守すべき事と必要性について講話され、安全運転意識を高めることが出来ました。また、交通事故遺族の方が講演した内容の資料も頂き拝読させて頂きましたが、被害者の悲痛な心境を思うと、決して加害者にならないように安全運転に努め、絶対に事故を起こしてはならないと強く考えさせられました。

衛生講話は、ヘルスサポートセンター 鹿兒島の医師 河村裕氏より「うつにならないためのセルフケア」についてご講話頂



●標語入選表彰者